

平成28年度

公共事業再評価

重点	事業名	箇所名
	広域河川改修事業	二級河川瀬戸川（石脇川・瀬戸川工区）
◎	広域河川改修事業	二級河川太田川 下流工区
	広域河川改修事業	二級河川太田川 敷地川工区
	広域河川改修事業	一級河川韮山古川

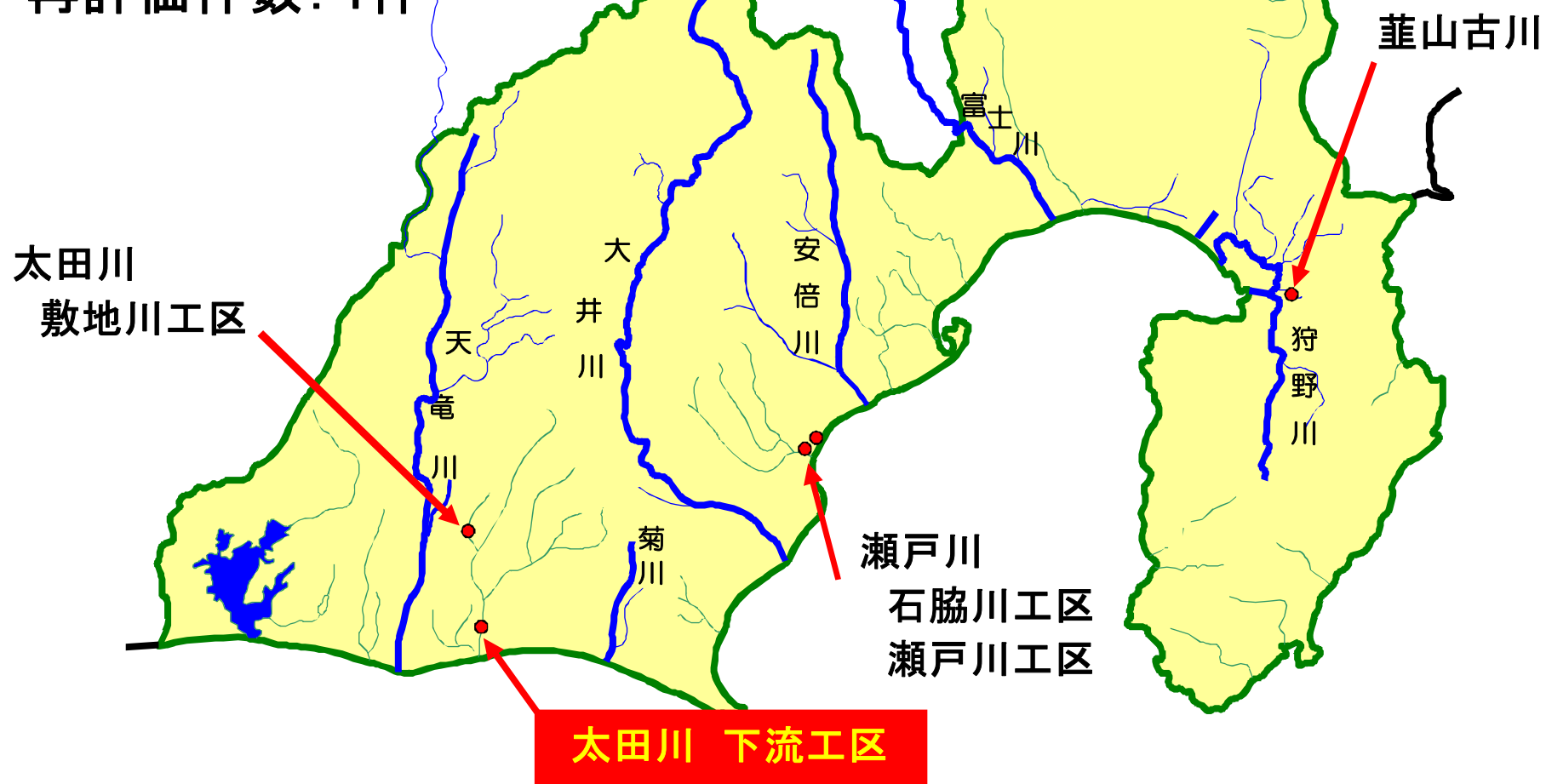
河川砂防局 河川海岸整備課

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

再評価実施箇所 位置図

再評価件数: 4件

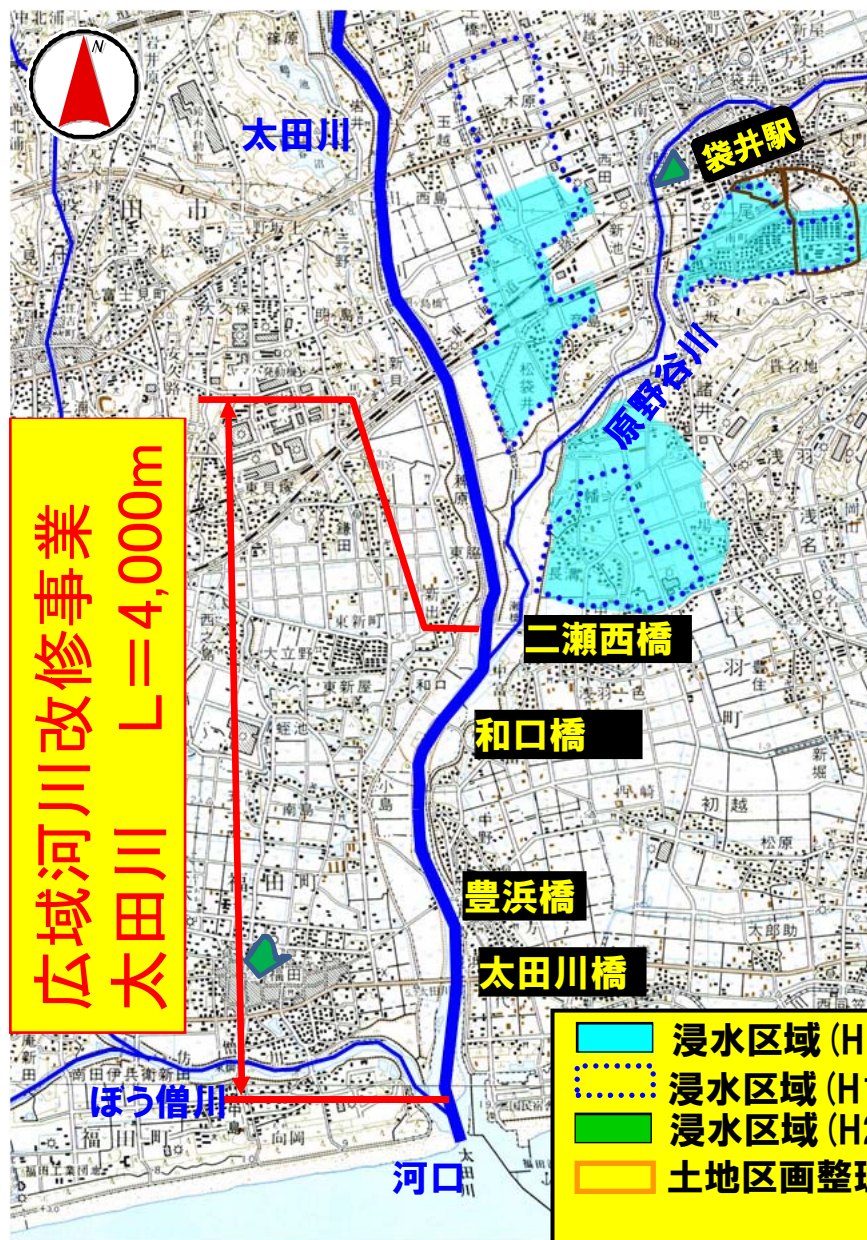


位置図



1.事業概要（太田川）

<事業概要>



計画期間	平成14年～平成33年
全体事業費	117億円
投資状況	77.02億円 65.8%

平成26年10月洪水
袋井市国本（田畑・道路浸水状況）



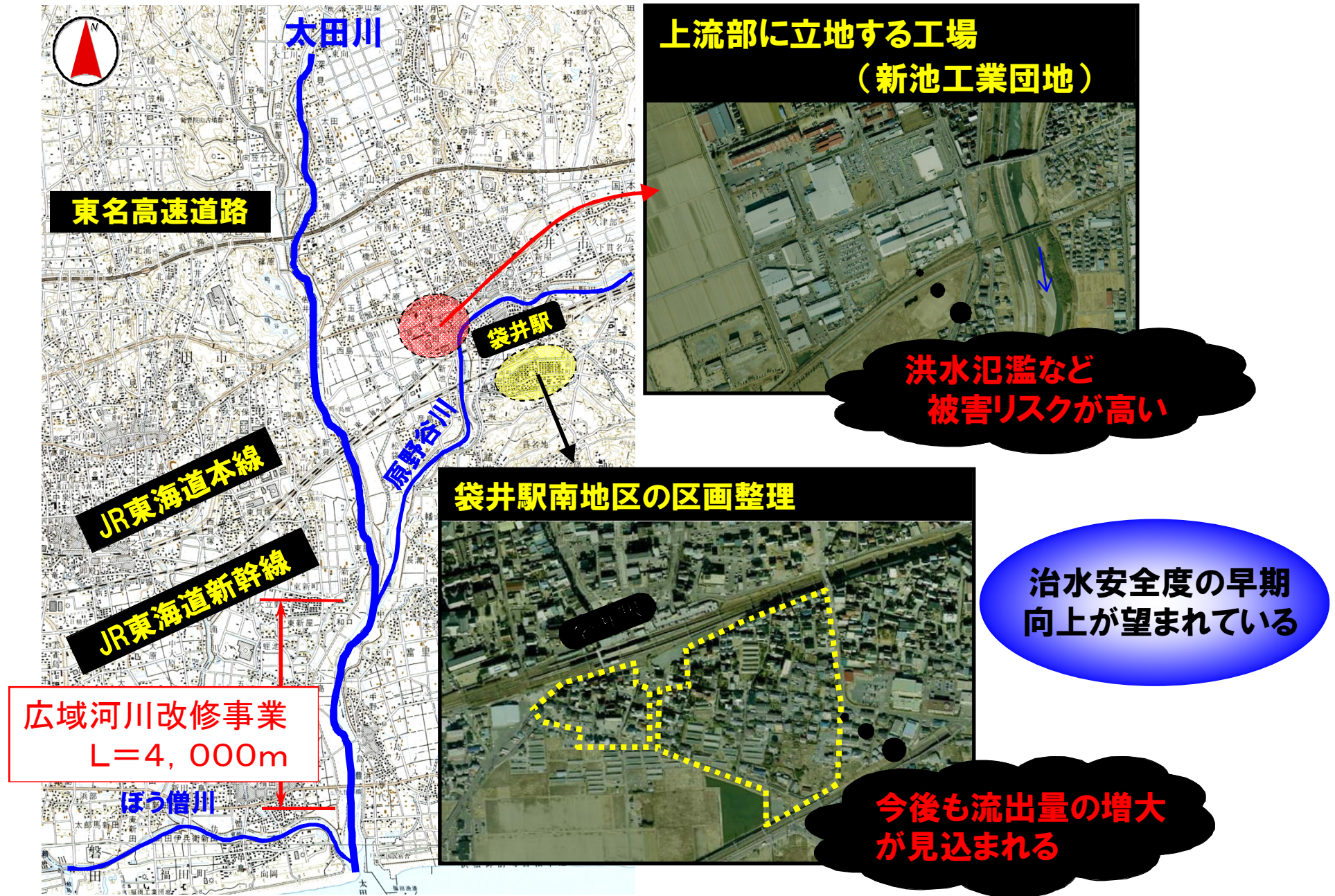
平成26年10月洪水
袋井市方丈（原野谷川出水状況）



近年における浸水被害状況
（袋井・磐田市）

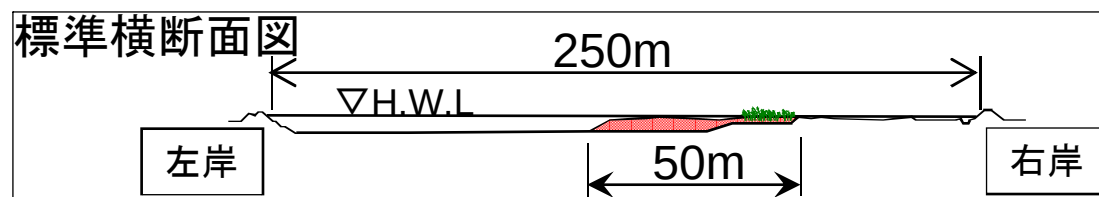
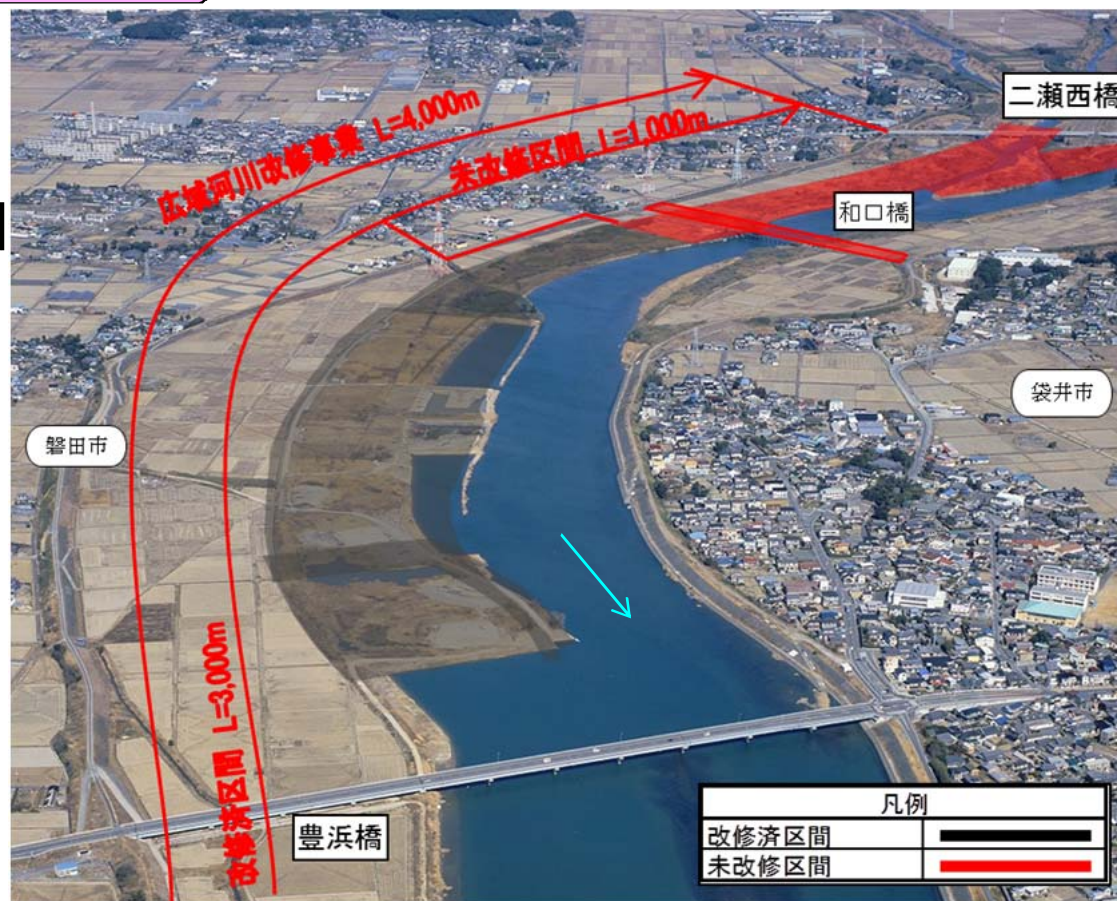
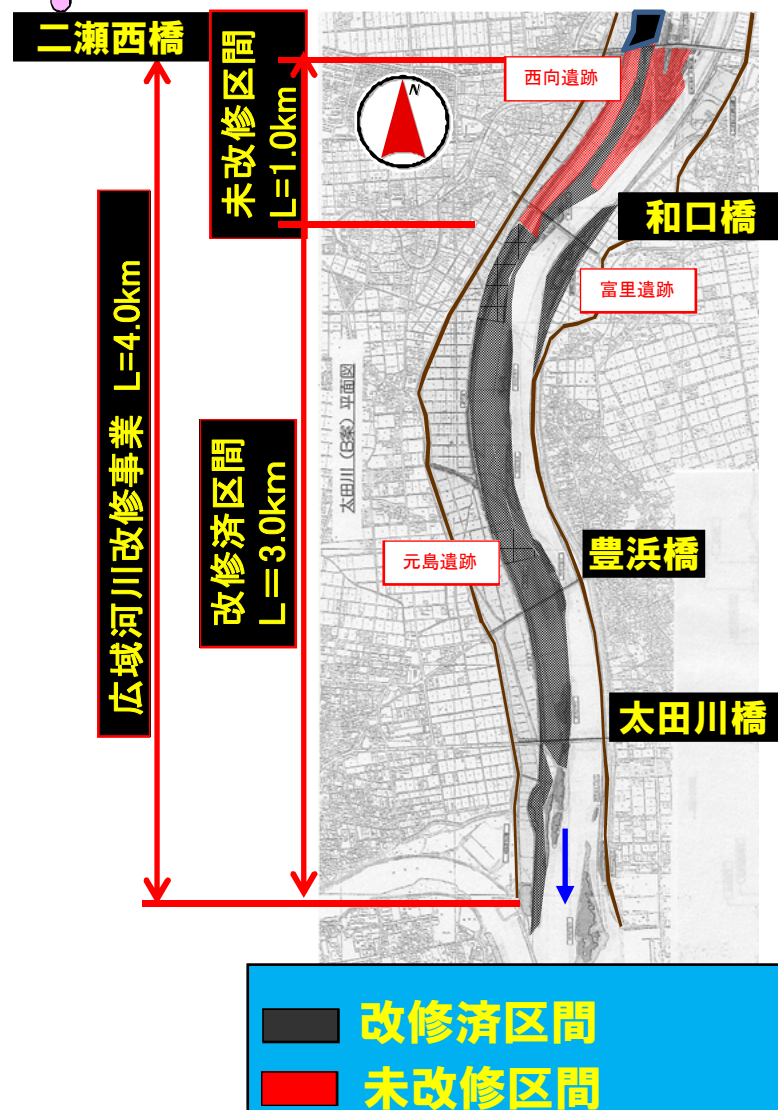
発生年月日	床上	床下	浸水面積(ha)
H10.9.24	46	245	505
H16.11.12	96	341	572
H26.10.5	12	75	

2.事業を巡る社会情勢等の変化



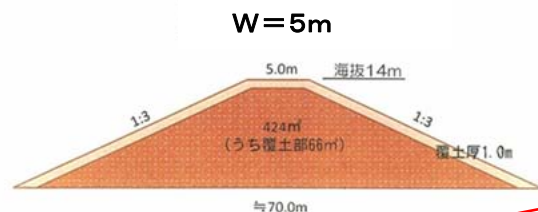
3. (1) 現在の取り組み（進捗率）

高水敷の掘削による流下能力の向上



3. (2) 現在の取り組み（残土の有効活用）

磐田市防潮堤の整備（H26～）



全体計画

$V \div 3,000,000\text{m}^3$

太田川河口右岸

竜洋海浜公園



施工状況

袋井市防潮堤の整備（H24～25）



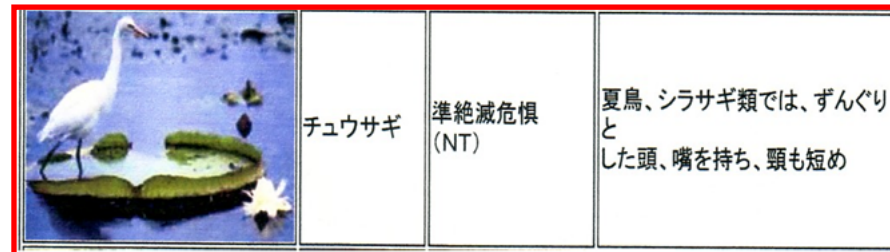
湊命山



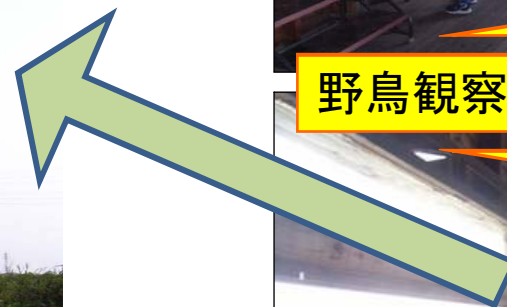
河口右岸防潮堤

3. (3) 現在の取り組み（環境の復元）

1:4.0の緩勾配で施工することにより、植生の回復を促し、魚類や鳥類等の生息環境の復元



野鳥観察会の様子



4.費用対効果

総便益(B)=2,091.18(億円)

➤ **被害軽減期待額 2,090.15(億円)**

※洪水による家屋、事業所、農作物、公共土木施設等の被害額と営業停止損失、
家屋・事業所における応急対策費用

➤ **施設残存価値 1.03(億円)**

総費用(C)=48.62(億円)

➤ **残事業建設費 43.63(億円)**

➤ **維持管理費 4.99(億円)**

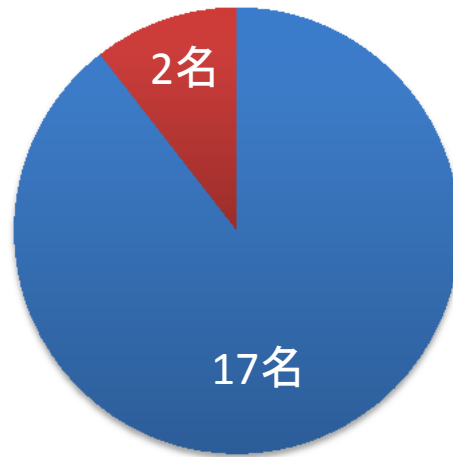
※平成28年度換算価値

(今回:H28) 費用対効果(B/C)=43.01

(前回:H23) 費用対効果(B/C)=32.27

5.地元意見

- 事業継続を要望
- 見直しを要望
- 事業中止を要望



アンケート調査結果
(磐田市和口自治会、袋井市浅羽西連合自治会の役員 計19名)

見直し要望の内容

- 土砂運搬のダンプが細い道を何度も往復しているのが危ない。
⇒ 運搬ルートを分散させて、同一ルートの台数を制限するなど交通安全対策を徹底します。
- 七夕豪雨の決壊地点に近い箇所など、他の箇所を改修した方が効果的ではないか。
⇒ 決壊箇所の堤防整備は完了しているため、各地点の河川の流下能力を考慮し、効果的かつ安全な施工順序として下流から整備を進め、早期の完成を目指します。

地域住民の事業に対する期待は大きい

6. 今後の見込み

- 事業用地の取得は完了しており、事業は順調に進捗する見込みである。
- 掘削土砂については有効活用を図るため、近隣市が実施する海岸防潮堤の盛土材等として利活用する予定である。
今後も他事業等へ流用するなどコスト縮減に努めていく。

7. 対応方針（案）

- 費用対効果も認められ、地域住民の改修への期待は非常に大きい。
- 浸水被害を解消するため事業継続とする。